

薬学部の沿革

福山大学薬学部は、日本で最初の「医療薬学教育の実践」を教育理念とする薬学部として1982年（昭和57年）4月に開設されました。医療薬学教育のパイオニアとして、学内に「モデル薬局」を設置し、全4年次生に対してモデル薬局での実践的薬剤師プレトレーニング実習を実施、さらに病院実習を必修とするなど、数々の新しい教育システムの構築に取り組み、実現させてきました。福山大学が他大学に先駆けて実現させた医療薬学教育システムであり、「福山大学方式」として薬学教育現場や医療現場から高い評価を受けてきました。4年制薬学教育の中で四半世紀に渡り実践してきたこれらの医療薬学教育のノウハウは本学薬学部の大きな財産であり、平成18年度から始まった6年制薬学教育の中にもしっかりと根付き、その礎として機能しております。

昭和57年（1982年）

薬学部開設（入学定員：薬学科80名、生物薬学科40名）

薬学部棟（10号館・11号館）竣工、薬用植物園設置

昭和59年（1984年）

実験動物飼育施設（13号館）竣工

薬学部大学院棟（12号館）竣工

昭和60年（1985年）

放射性同位元素実験施設完成

モデル薬局整備完了

病院実習実施開始

昭和62年（1987年）

大学院薬学研究科医療薬学専攻修士課程開設（入学定員：20名）

昭和63年（1988年）

大学院薬学研究科医療薬学研修実施開始

平成4年（1992年）

創薬科学研究施設棟（26号館）竣工

平成6年（1994年）

保険薬局実習実施開始

平成7年（1995年）

大学院薬学研究科医療薬学専攻博士後期課程開設（入学定員：5名）

修士課程を博士前期課程に改組

平成13年（2001年）

入学定員変更（薬学科80名、生物薬学科70名）

平成15年（2003年）

入学定員変更（薬学科100名、生物薬学科100名）

薬学部棟（31号館）竣工

平成18年(2006年)

6年制薬学部開設(入学定員:薬学科200名)

平成22年(2010年)

薬学部棟「医療薬学教育センター」(34号館)竣工

平成24年(2012年)

大学院薬学研究科医療薬学専攻博士課程(4年制)開設(入学定員:3名)

平成25年(2013年)

入学定員変更(薬学科150名)

平成26年(2014年)

薬学教育評価機構での評価結果「適合認定」

(認定機関:平成26年4月1日~平成33年3月31日)